

議員の

聴

く

×

つ

な

ぐ

和紙作りを支える 楮かしき・楮むき ^{かず} ^{かず} を取材しました

寒い中での手作業。皮が途中でさけることがないように、丁寧にむいていく地道な作業です。この後、不要な部分を取り除く等、数度の工程を経て乾燥した状態の原料となり、紙漉き職人さんの手元に届くことになります。

少しでも早く職人さんに届けるためにがんばっています。ただ、人手不足で3月末まで作業がかかってしまいます。

楮作りから紙漉きまで、全工程に携わりたいと思い、取り組んでいます！



楮むきのイベントへの参加をきっかけに、移住をしてしました(笑)。

力を合わせて楮むきをする和紙工業協同組合の皆さん

紙漉きは冬が本番。手がかじかむ中で作業が続きます。私も体験しました。きれいにむくのはとても難しかったです。こうした苦労に応えるためにも和紙の日常使いをしたいものです。

取材者 鈴木



次の定例会は **2月28日(金)～** 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



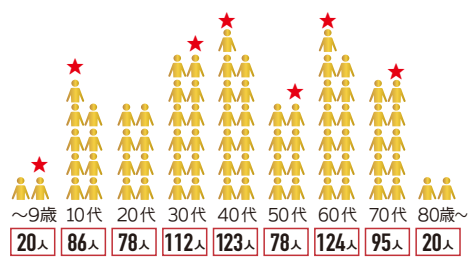
議員の

議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ

※2016年5月リニューアル号(No.79)以降の合計人数

736人 (★印は今号取材)



・今号の表紙・

第32回小川和紙マラソン大会

「和紙」を冠したマラソン大会は唯一無二で、七夕まつりに次ぐ当町の大イベント。「ランナーの勇姿」と「ボランティアの支え」に感謝！

編集後記

取材の数だけ出会いがあり、学びがありました。小川和紙とは小学校以来の再会で、過去から脈々と続く和紙を未来に伝えることは重要だと学びました。全ての出会いに感謝し、次の出会いと学びは何か……楽しみです。(田端)

発行責任者：小川町議会議員 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています